令和８年１０月２２日

仕様書番号第６６号

９号建物燃料地下タンク漏洩点検役務

役務件名	９号建物燃料地下タンク漏洩点検役務	図面番号	１／５
種　　別	表　　紙	縮　　尺	―
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		

仕　様　書

1　役務件名
　９号建物燃料地下タンク漏洩点検役務

2　役務場所
　栃木県宇都宮市茂原１－５－４５　陸上自衛隊宇都宮駐屯地

3　役務概要
　燃料地下タンク漏洩点検（配管・気相部・液相部含む）　１式

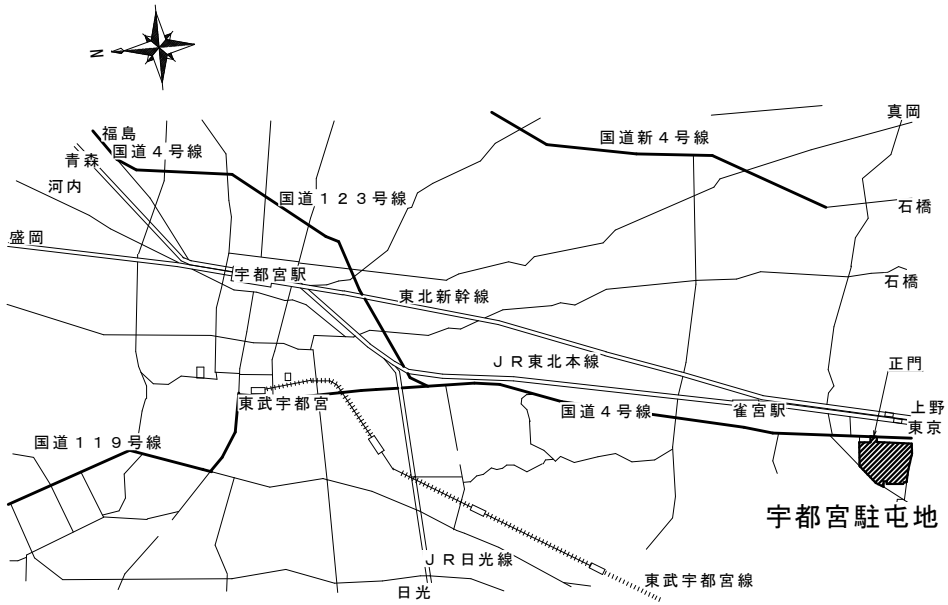
4　一般事項
(1)　本役務は本仕様書による他、関係諸規則及びメーカー仕様に基づくものとする。
(2)　本仕様書及び図面に疑義が生じた場合は、監督官と協議を行いその指示に従うものとする。
(3)　現場の収まり等により、軽微な変更の必要性が生じた場合は、監督官と調整しその指示に従うものとする。ただし、請負金額、納期等の変更は行わないものとする。
(4)　役務実施に関して、隊員及び部外者に傷害等を与えた場合、または施設等に汚損与えた場合は受注者の責任において復旧及び保障するものとする。
(5)　使用材料は仮設材を除きすべて新品とし、官側検査を受け合格したものを使用する。
(6)　請負業者は現場代理人等を指定し、関係法令に基づき現場の管理を行い防災に努めること。危険性のある場所には危険表示等の処置を行うものとする。
(7)　作業現場及び許可された場所以外への無断立入等は厳禁とする。
(8)　役務写真は、各作業の作業前・作業中・作業後、使用材料及び施工後隠蔽になる箇所、その他監督官の指示する箇所を撮影し、整理の上１部提出するものとする。
(9)　本役務に必要な申請及び提出書類は官側の示す規格様式で作成し提出するものと
(10)　官側の電気及び水は原則として使用しないものとし、やむを得ず使用する場合は有料とし、事前に諸手続きを行うこと。
(11)　撤去品が発生した場合、金属類発生材は、関係書類提出後監督官が指示する場所に搬入するものとし、その他は全て廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正に処理するものとする。また、処理の結果は書面（産業廃棄物管理票等）にて提出するものとする。
(12)　役務完了後は、作業現場の後片付け及び清掃を行うものとする。

5　特記事項
(1)　本役務で保守点検する燃料地下タンクの諸元については下表のとおりとする。

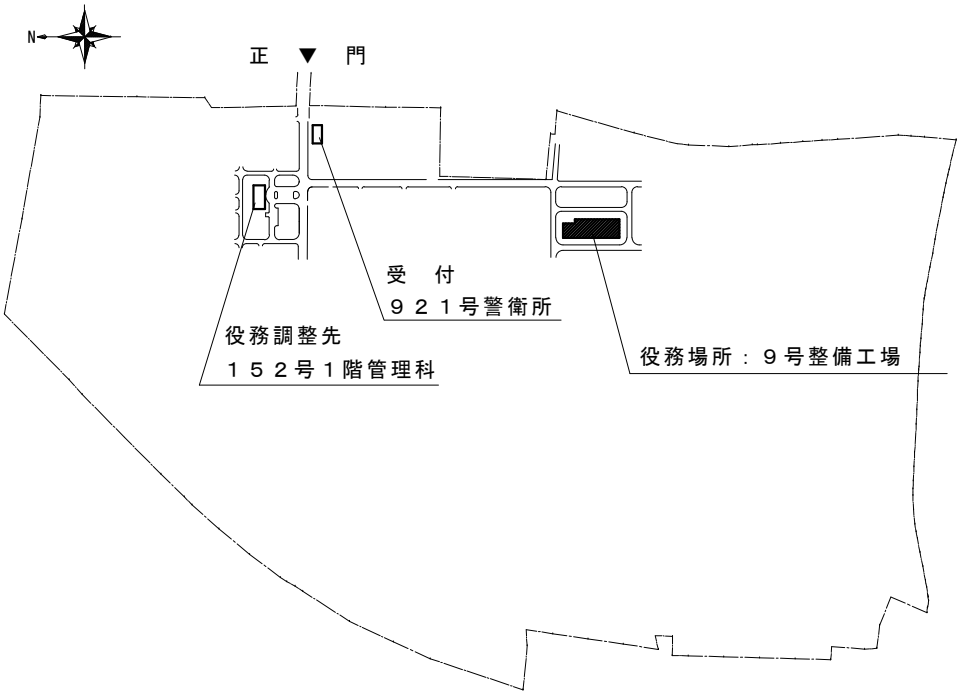
油　種	容　量	タンク構造	用　途
Ａ重油	１８ＫＬ	二重殻ﾀﾝｸ	ボイラー用燃料

(2)　検査方法は、加圧法・微加圧法・減圧法・微減圧法のいずれかとする。
(3)　地下タンク及び配管の気相部・液相部の気密検査を実施するものとする。
(4)　作業完了後、検査結果報告書を官側に提出するものとする。
(5)　仕様書に記載なき事項でも技術上当然すべき事項は実施すること。
(6)　異常箇所等を発見した場合においては、早急に監督官に報告するとともに、補修方法及び見積書（修理部材の細部が分かるもの。）を提示するものとする。
(7)　本役務の保証については、自然災害及び官側の過失を除く1年間とする。

役務件名	９号建物燃料地下タンク漏洩点検役務	図面番号	２／５
種　別	仕　様　書	縮　尺	S=1:X
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		

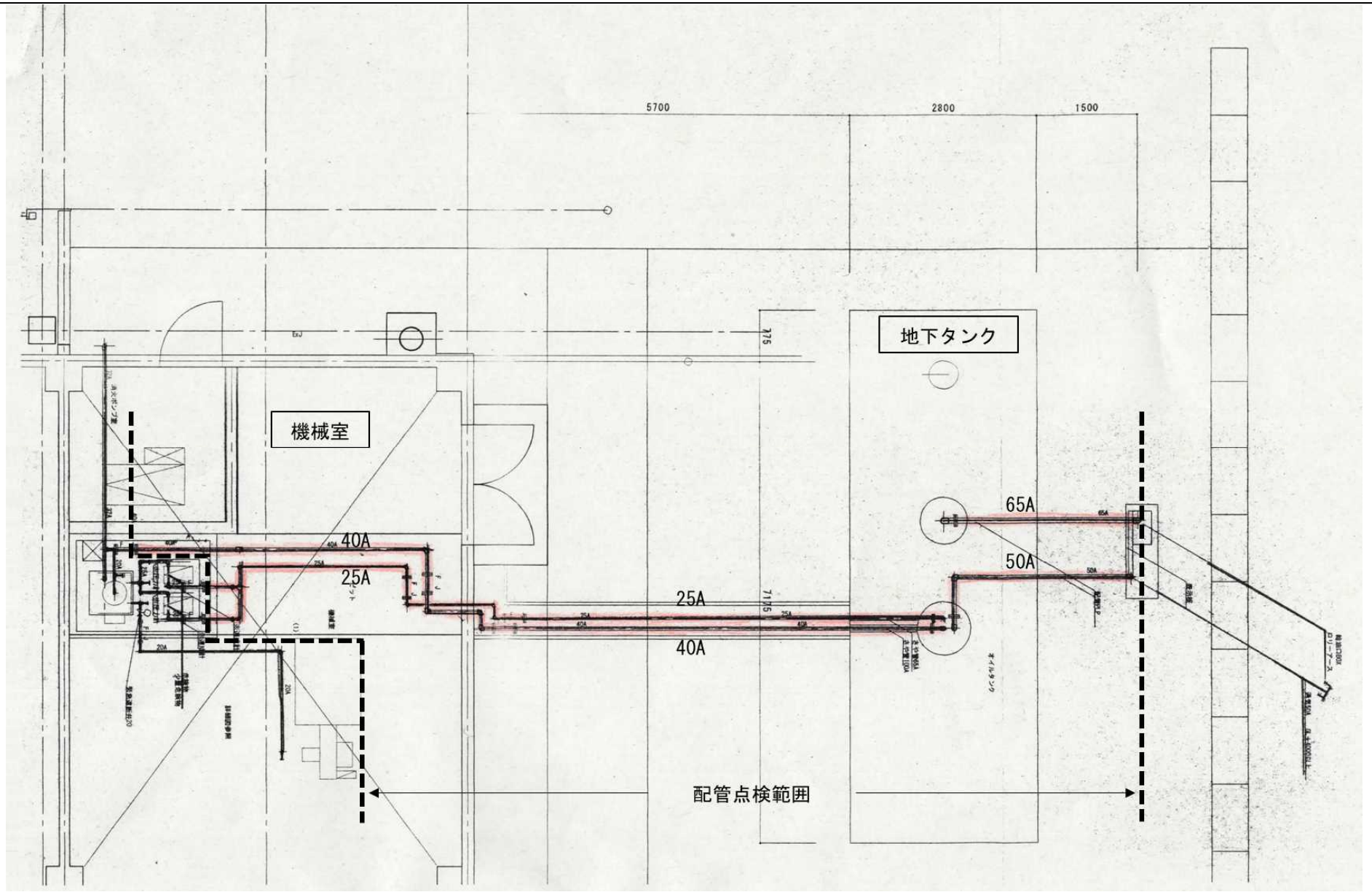


案内図　S=1:X



配置図　S=1:X

役務件名	９号建物燃料地下タンク漏洩点検役務	図面番号	３／５
種　　別	案内図・配置図	縮　　尺	S=1:X
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		

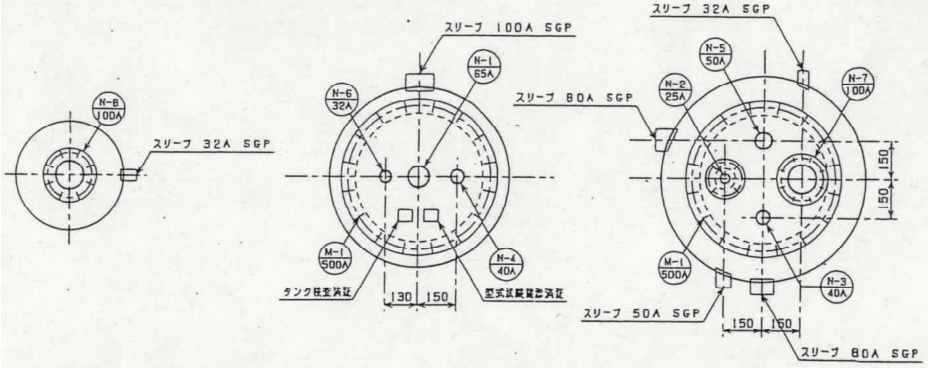


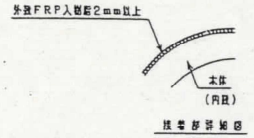
役務件名	９号整備工場燃料地下タンク漏洩点検役務	図面番号	３／４
種　　別	９号整備工場１階機械室平面図	縮　　尺	
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		

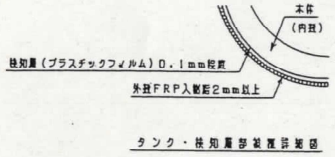
オイルタンク　ノ　容量計算
タンク総容量　$V=\pi \times r^2 \times (L+\frac{2\times 0}{3})$
$=3.14\times 0.950^2\times(6.554+\frac{2\times 0.369}{3})$
$\fallingdotseq 19.2702\,m^3$
許容量ヲ、18000リットルト、空間容量ハ、次ノ様ニナル
$19.2702\,m^3-18.00\,m^3=1.2702\,m^3$
空間ノ割合ハ、全体ニ対シテ、$\frac{1.2702}{19.2702}\times 100=6.6\%$
$\therefore\ 5\% \leqq 6.6\% \leqq 10\%$　法令ニ、適合スル。

ノズル表

No	名　称	口　径	個数	ノズルネック	接続口	備　考
N-1	注油口	65A	1	—	ソケット　SS400	
N-2	送油口	25A	1	SGP	外ネジ　SS400	
		65A	1	—	5KF　SS400	固定部
N-3	返油口	40A	1	—	ソケット　SS400	
N-4	排水口	40A	1	—	ソケット　SS400	
N-5	通気口	50A	1	—	ソケット　SS400	
N-6	計量口	32A	1	—	ソケット　SS400	
N-7	液面計口	100A	1	SGP	5KF　SS400	
N-8	漏洩検知センサー口	100A	1	STPG370 (sch80)	10KF　SS400	
M-1	マンホール	500A	2	SGP	16-M12(SUS)	

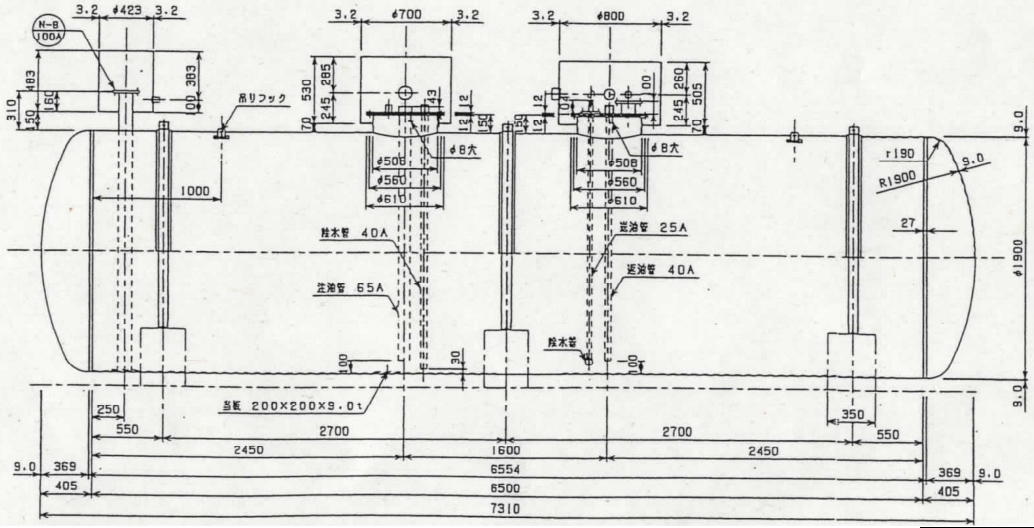


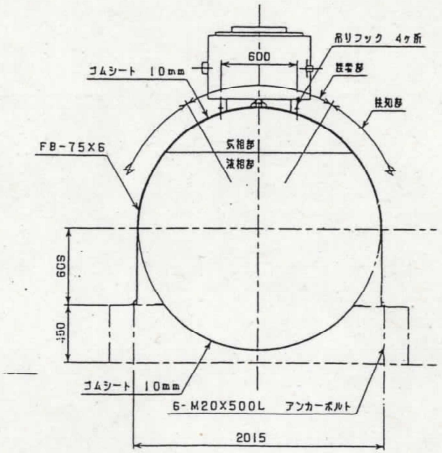




オイルタンク　防衛施設庁仕様

型　番	OT-1	製作台数	1基
容　量	18000ℓ		
寸　法	φ1900X6500L		
材　質	SS400		JIS G 3101
板　厚	胴 9.0t　鏡 9.0t		
台　脚	ノズルネック	SGP	JIS G 3452
	フランジ	SS400 5K型	JIS G 3101
		SS400 10K型	JIS G 3101
	ソケット	SS400	JIS G 3101
プロテクター	φ700X530H　3.2t	SS400	JIS G 3101
	φ800X505H　3.2t	SS400	JIS G 3101
	φ423X483H　3.2t	SS400	JIS G 3101
バンド	FB-75X6　3ヶ所	SS400	JIS G 3101
防錆処理	外部　FRP入樹脂2mm以上		
付属品	電気式液面計(ELM-4100)		
油の種類	A重油		
適用法規	危険物		
質　量	本体-3935kg		
取出高さ	フランジ:100L　スリーブ:50L		





役務件名	9号整備工場燃料地下タンク漏洩点検役務	図面番号	5／5
種　別	燃料地下タンク図面	縮　尺	
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		